

平成25年第1回定例会 議会報告

(平成25年 2月22日～3月22日)

かみくら

神倉ひろあき

秦野市議会議員



●2月22日から始まった、第1回定例会は、施政方針、代表質問、議案審議、一般質問、常任委員会、予算特別委員会、議会運営委員会、議会活性化特別委員会と続き3月22日、委員長報告・議案審議をもって終了しました。以下、私の一般質問、

「議提議案第4号秦野市副市長定数条例の一部を改正することについて」を、ご報告いたします。

一般質問 道路行政について ……透明性を欠き、理解できない道路行政を切る！

質問 内閣府が実施する「道路に関する世論調査」の度ごとに“歩行者の安全確保”に対するニーズは強い。道路は、住民がユーザーであり、ユーザー重視の観点から、あくまでも住民との協働による道路行政の推進が基本である。市民の視点に立ち、より効果的・効率的かつ透明性の高い道路行政を目指すものであり、道路の整備・管理のあり方を、地域住民の合意による地域づくり、街づくりの一環としてとらえて、地域と行政が、共通の意思決定をすることでもある。ところで、本市の道路行政は、住民のニーズを的確に把握し、ニーズに基づき、道路整備を構築しているのか。整備決定には、資料や状況、その結果が出た経緯が、わかるようにすることなど、透明性、公正・公平性が、確保されているのだろうか、と疑問をもつ。

①市道整備のプロセスと優先度は、どのようか。 ②市の道路行政に反映させる調査をしているのか。

回答 ① ・プロセス：路線選定は、道路の安全性、交通渋滞の状況、通学路・地元からの要望による。

事業実施は、地域性、住民の熟度、地権者の同意状況について地元説明会を行い確認する。

・整備の優先順位：幹線道路は、市全体の視点から整備の優先度を捉えていく。生活道路の拡幅整備や交差点の改良は、緊急自動車の交通の可否、交通の安全性、交通渋滞の状況である。歩道整備は、市民が利用する施設の周辺道路や通学路であり、バス路線や交通量の多い道路である。②本市では、独自に行っていない。

★なぜ、市道342号線(曾屋道:宇山スタンド～はだのこども館 写真1)の歩道整備を優先するのか！

質問 市道342号線の歩道設置事業について、①地元住民の声をどう聞いているか。

②平成20年度から23年度までの事業費全体の内訳と割合はどのようか。

回答 ①地元住民に個別に説明している。②総事業費:2億5,281万7,031円で、内訳は、不動産鑑定料等36万7,500円、測量・建物調査等が、1,149万9,600円、買収土地の仮舗装等が、54万9,150円、用地費が、2,554万7,437円、建物等の補償費が、2億1,265万4,984円で全体の約84.1%と最も多く、交付金事業に係る事務費が、220万8,360円である。



写真1(宇山スタンド～はだのこども館)



写真2(歩道整備と関係ない市購入のこぶき公園入口)

★建物等の補償費が、なぜ、総事業費の84%強になるのか…！！

質問 ①総事業費:約2億5,300万円の84%(約2億1,300万円)を建物(4戸)の補償費にあてなければならないような重要な事業であるのか。もっと重要な課題を持つ整備箇所があるのではないか。

②この事業の中に歩道設置と直接関係の無い所が2ヶ所ある。何の目的で用地買収したのか。

回答 ①近くに大型店舗やこども館、本町公民館がある。この路線に歩道を位置付けることであり、秦野市交通バリアフリー基本計画・実施計画で位置づけがある。街中で補償を伴う歩道の設置では、妥当な金額である。

②セットバック分と、ことぶき公園の進入路(写真2)として買収した。

★ことぶき公園の進入路は、すでに1ヶ所あるにも係わらず、あえて、2ヶ所にする理由は何か？

質問 市内には、進入路が1ヶ所しかない公園が、28もある。今後、公園の進入路を2ヶ所にするという計画があるのか。また、防災拠点とするなり、緊急車両が入るためか。また、公園の進入路については地元からの要望があったのか。先日、何度か、ことぶき公園に行ったが、人はいなかった。

回答 なし …【疑念ある土地買収】…

★同じ、市道342号線でも、人身事故の多発箇所(写真3)を何故、整備しないのか！！

質問 市道342号線では、本町公民館前の歩道で平成23年に4件、24年に3件の人身事故があり、本年になって既に、2件の人身事故が起きている。数年前から、市民や他の議員からも指摘されていたにもかかわらず、道路整備が講じられない。人の命にかかわる事が、放置されている。道路整備の優先順位は、どうなっているのか。

市長 宇山スタンド～こども館までを優先したのは、入口のところに電信柱があり、バスが回るのがぎりぎりという状況で、入口の所だけが狭く、中に行くと広がる道路だったので、この箇所を優先した。…的はずれな回答！

★新年度予算の市道改良事業費で、343号線(入船:NTTドコモ脇道)の拡幅を実施する予定、なぜか??

質問 本年度、人身事故多発区域の道路整備を置き去りにして、なぜ、NTTドコモ正面右側の道路を拡幅するのか。

市長 バス道路は大切な幹線道路で、時間はかかるが、問題点を一つ一つ修理していくというのが仕事である。…回答になっていない！！

(市長は、小さな声が届く公平・透明な市政を掲げているが、優先順位が不透明で明確な答弁が、できない状況。)

意見・要望 市民の方々から道路行政の不透明さを指摘されており議員として情けない。そこで、私の主張は、
①市には総合計画があり、これに付随した事業や計画の中で、緊急性等に鑑みながら事業は行われるべきである。宇山スタンド～こども館、NTTドコモ正面右側の道路の整備が、どれだけ優先度が高く重要な場所なのか理解できない。
②公務員は、全体の奉仕者であり、一部の奉仕者ではないという憲法15条を肝に銘じながら事業を行って頂きたい。
③道路行政において、市長は、選択と集中と言うが、しっかり計画・方針を立て、原理・原則に従い、事業後に市民から感謝されるような市道整備・道路行政の実行を強く望む。



写真3(本町公民館前の歩道)

★「議提議案第4号秦野市副市長定数条例の一部を改正することについて」…副市長を1人制にする議案昨年、12月の定例会で、部の統合、副市長のあり方等、行財政改革の推進を図るために「簡素で効率的な組織執行体制の実現を求める決議」を可決しましたが、決議に対する取組みが無いことや副市長2人制による明確な効果・成果が見えない。さらに、財政状況や市民感覚を踏まえ、私は、会派を代表して、副市長1人制の賛成討論をしました。残念ながら賛成11人、反対14人で否決されましたが、この議案の精神を、今後共、推進してまいります。

●一般質問の詳細は、「秦野市議会HPにて、録画配信しています。」是非ご覧ください。

●秦野市渋沢2-5-13 TEL&FAX 0463-88-3655 携帯:090-3533-8034 Eメール: kamikura5@yahoo.co.jp

神倉ひろあき 平成25年度 第一回定例会議会報告